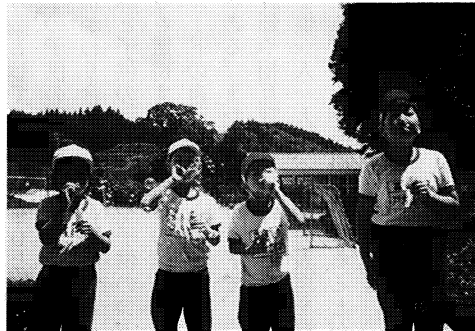


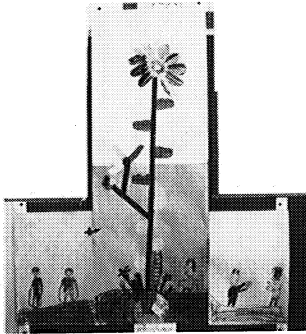
- 仕方をもどるようにしたらよいか。
- ① 個をとらえ、個に応じた支援
  - ② 表現を認め合える鑑賞の時間
  - ③ 一人一人のよさを生かす評価
  - ④ 日常の造形活動の中で、思いを豊かにし、創造的スキルを高める手立ては、どうしたらよいか。
- ① ピカソタイム（技法紹介）
  - ② 人物タイム
  - ③ 感性と表現意欲を育てる環境の充実
- #### 四 研究の実際と考察
- ##### (1) 検証授業
- 実践1 『しゃぼんだまとあそぼう』  
 実践2 『グアナコ・アノア・パラル』  
 実践3 『まほうのたねから…』
- ① 豊かな表現が広がる題材との出会わせ方の工夫
- 実践1では、事前にしゃぼん玉で遊ばせることによってイメージが膨らみ、意欲的な活動を展開していった。（資料1）
- 実践2では名前や「地球上にすんでいる、見たことのない…」と誘い掛けたことで、現実から離れた世界にいったようで、想像力を働かせることができた。また、三種類の変身グアナコカードを半分ずつ隠した形で作品例を提示する方法も想

像力をかきたてることができた。

実践3では、生活科の時間に草花の種まきをして、一人一人花を育ててきたことにより、本時でも楽しんでまほうの種づくりに取り組むことができた。（資料2）



資料1 題材との出会わせ方



資料2 児童作品「きれいな花」

- ② 自己選択・自己決定できる場の設定の工夫
- タンポポやブラシなどの用具やカラーペン、コンテ、絵の具などの描画材、布や包装紙などの身辺材料を各種コーナーに設けたことから、自分で描画材や用具、材料を選び、自分の思いにあわせて主体的に活動することができた。また、用紙もいろいろな形や色の用紙を選び、思いを豊かに表現することができた。（資料3）
- ③ 思いが膨らむような効果音の活用の工夫



資料3 各種コーナー

- ④ 個をとらえ、個に応じた支援の工夫
- 子供の思いが膨らむようなBGMを流すことによって、イメージを膨らませることができた。
- ⑤ 表現を認め合える鑑賞の時間の工夫
- 子供自身の見方や感じ方を大切に、互いに認め合える温かい雰囲気づくりを心掛けてきたことから、友達の良いところを見つけてよとする態度が育ってきた。また、次時への表現活動の意欲を高めることもできた。
- 題材の最後には、友達の良いことを発表し合い、よさカードに記入させてきた。友達から、よさカードをもらうことによって、自信がつき、自分の作品に満足している子供が多くなった。そのよさカードは、鑑賞カードに添付し、学級に掲示してきた。
- ⑥ 一人一人のよさを生かす評価の工夫
- 評価については、「自分の思いを表現しているとき」それ自体をよさとしてとらえていくことを基本とし